

令和 6 年度千葉県こどもの生活実態調査

結果概要（速報版）

I. 調査概要

1. 目的

千葉県内に住む小学 5 年生及び中学 2 年生とその保護者を対象に勉強時間・場所、放課後の過ごし方、勉強の理解度、保護者の学歴、就業の状況・収入、児童相談所やスクールカウンセラーといった自治体の相談体制に対する認知度・利用度等、教育や生活に関連する調査を行い、その結果を取りまとめた。

2. 実態調査票の配布及び回答数

実態調査票については、人口規模や地域性のバランスを考慮し、県内の 14 市町村（柏市、成田市、旭市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、富津市、四街道市、匝瑳市、山武市、多古町、睦沢町、長生村）に配布。当該回答に加えて、君津市が同時期に本調査と同様の設問を含めて実施した「君津市こどもの生活状況調査」の回答を統合し、計 15 市町村の回答結果の集計・分析を行った。

配布数	こども票・保護者票 各 19,728 件 うち小学 5 年生：9,931 件 中学 2 年生：9,797 件
回答者数	こども票 7,127 件 うち小学 5 年生：3,605 件 中学 2 年生：3,401 件 学年不明：121 件 保護者票 7,275 件 うち小学 5 年生：3,887 件 中学 2 年生：3,372 件 学年不明：16 件
回答率	こども票 36.1% うち小学 5 年生：36.3% 中学 2 年生：34.7% 保護者票 36.9% うち小学 5 年生：39.1% 中学 2 年生：34.4%

3. 生活困難度の定義（参考：平成 28 年度東京都子供の生活実態調査）

本調査では、こどもの「生活困難」にかかる 3 要素を以下のとおり定義した。

①低所得	<p>等価世帯所得が厚生労働省「2023（令和 5）年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯と定義する。</p> <p><低所得基準> 世帯所得の中央値 405 万円 ÷ √平均世帯人数（2.25 人） × 50% = 135.0 万円</p>
②家計の逼迫	<p>保護者票において、以下の 7 項目中、1 つ以上が該当する場合と定義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去 1 年以内に経済的な理由で電話料金の滞納があった 2. 過去 1 年以内に経済的な理由で電気料金の滞納があった 3. 過去 1 年以内に経済的な理由でガス料金の滞納があった 4. 過去 1 年以内に経済的な理由で水道料金の滞納があった 5. 過去 1 年以内に経済的な理由で家賃の滞納があった 6. 過去 1 年以内に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」があった 7. 過去 1 年以内に「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があった
③こどもの体験や所有物の欠如	<p>保護者票において、過去 1 年以内にこどもの体験や所有物に関する以下 15 項目のうち、経済的な理由により欠如している項目が 3 つ以上ある場合と定義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海水浴に行く 2. 博物館・科学館・美術館などに行く 3. キャンプやバーベキューに行く 4. スポーツ観戦や劇場に行く 5. 遊園地やテーマパークに行く 6. 毎月おこづかいを渡す 7. 毎年新しい洋服・靴を買う 8. 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる 9. 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう） 10. お誕生日のお祝いをする 11. 1 年に 1 回くらい家族旅行に行く 12. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13. こどもの年齢にあった本 14. こども用のスポーツ用品・おもちゃ 15. こどもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所

上記 3 つの要素について、該当する要素の数に応じて以下のとおり生活困難度を分類した。

困窮層	2 つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか 1 つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない

なお、上記 3 要素についてひとつでも欠損がある場合は無効としたため、生活困難度を算出できるサンプルは 5406 件（保護者票ベース）となった。

4. 困窮層の割合

保護者票における困窮層の割合をみると、全体では困窮層が9.7%、周辺層が12.8%であった。また、3要素に該当する割合はそれぞれ①低所得が5.4%、②家計の逼迫が14.1%、③こどもの体験や所有物の欠如が14.6%となっていた。

図表 1 困窮層・周辺層・一般層の割合（全体・保護者票ベース）

	全体		小学5年生		中学2年生	
	人	割合	人	割合	人	割合
① 困窮層	522	9.7%	264	9.0%	257	10.4%
② 周辺層	694	12.8%	360	12.3%	333	13.4%
小計（①+②）	1216	22.5%	624	21.4%	590	23.8%
③ 一般層	4190	77.5%	2297	78.6%	1890	76.2%
合計（①+②+③）	5406	100.0%	2921	100.0%	2480	100.0%

	全体		小学5年生		中学2年生	
	人	割合	人	割合	人	割合
①低所得	294	5.4%	141	4.8%	151	6.1%
②家計の逼迫	763	14.1%	407	13.9%	356	14.4%
③こどもの体験や所有物の欠如	790	14.6%	394	13.5%	395	15.9%

図表 2 困窮層・周辺層の割合（小学5年生・保護者票ベース）

			人	割合	人	%
困窮層	3つに該当	①低所得+②家計の逼迫+③こどもの体験や所有物欠如	54	1.8%	264	9.0%
	2つに該当	①低所得+②家計の逼迫	17	0.6%		
		①低所得+③こどもの体験や所有物欠如	18	0.6%		
		②家計の逼迫+③こどもの体験や所有物欠如	175	6.0%		
周辺層	1つに該当	①低所得	52	1.8%	360	12.3%
		②家計の逼迫	161	5.5%		
		③こどもの体験や所有物欠如	147	5.0%		
困窮層と周辺層の計					624	21.4%

図表 3 困窮層・周辺層の割合（中学2年生・保護者票ベース）

			N	%	N	%
困窮層	3つに 該当	①低所得+②家計の逼迫+③こどもの 体験や所有物欠如	55	2.2%	257	10.4%
	2つに 該当	①低所得+②家計の逼迫	11	0.4%		
		①低所得+③こどもの体験や所有物 欠如	31	1.3%		
		②家計の逼迫+③こどもの体験や所 有物欠如	160	6.5%		
周辺層	1つに 該当	①低所得	54	2.2%	333	13.4%
		②家計の逼迫	130	5.2%		
		③こどもの体験や所有物欠如	149	6.0%		
困窮層と周辺層の計					590	23.8%

図表 4 困窮層・周辺層の割合（全体・保護者票ベース）

			人	%	人	%
困窮層	3つに 該当	①低所得+②家計の逼迫+③こども の体験や所有物欠如	109	2.0%	522	9.7%
	2つに 該当	① 低所得+②家計の逼迫	28	0.5%		
		①低所得+③こどもの体験や所有物 欠如	50	0.9%		
		②家計の逼迫+③こどもの体験や所 有物欠如	335	6.2%		
周辺層	1つに 該当	① 低所得	107	2.0%	694	12.8%
		② 家計の逼迫	291	5.4%		
		③ こどもの体験や所有物欠如	296	5.5%		
困窮層と周辺層の計					1216	22.5%

5. 分析対象について

有効回答となったこども票・保護者票のうち、こどもと保護者がマッチングできたのは小学5年生では3,468件、中学2年生では3,021件であった。本速報版において、こども票の分析にあたっては、生活困難度別の分析を行うため、こどもと保護者がマッチングできたサンプルのみを分析対象として取り扱う。また、保護者票の分析にあたっては、マッチングの有無にかかわらず、全サンプルを対象とする。分析対象となる保護者・こどもの件数内訳は以下のとおりである。

図表 5 分析対象の件数内訳

(人)

	こども		保護者	
	小学生	中学生	小学生	中学生
全体※	3,468	3,021	3,887	3,372
困窮層	230	228	264	257
周辺層	314	291	360	333
一般層	2056	1,684	2,297	1890

※全体には生活困難度が算出できなかったサンプルも含まれるため、困窮層・周辺層・一般層の合計と全体は一致しない。

6. 回答者の基本属性

図表 6 子問1 学年

	n	割合
小学生	3605	50.6%
中学生	3401	47.7%
無回答	121	1.7%
全体	7127	100.0%

図表 7 子問2 性別

		全体	男子	女子	その他・答 えたくない	無回答
小学生	n	3605	1741	1813	43	8
	割合	100.0%	48.3%	50.3%	1.2%	0.2%
中学生	n	3401	1553	1656	51	141
	割合	100.0%	45.7%	48.7%	1.5%	4.1%

図表 8 保問2 回答者の続柄

		全体	母親	父親	祖父・祖 母	叔父・叔 母などの 親戚	施設職員	里親	その他	無回答
小学生	n	3887	3456	399	15	0	7	3	2	5
	割合	100.0%	88.9%	10.3%	0.4%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
中学生	n	3372	3004	338	11	4	9	3	1	2
	割合	100.0%	89.1%	10.0%	0.3%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%

図表 9 保問3・4 世帯タイプ

		全体	ふたり親 (二世帯)	ふたり親 (三世帯)	ひとり親 (二世帯)	ひとり親 (三世帯)	その他	無回答
小学生	n	3887	3126	384	237	125	15	0
	割合	100.0%	80.4%	9.9%	6.1%	3.2%	0.4%	0.0%
中学生	n	3372	2580	387	251	134	19	1
	割合	100.0%	76.5%	11.5%	7.4%	4.0%	0.6%	0.0%

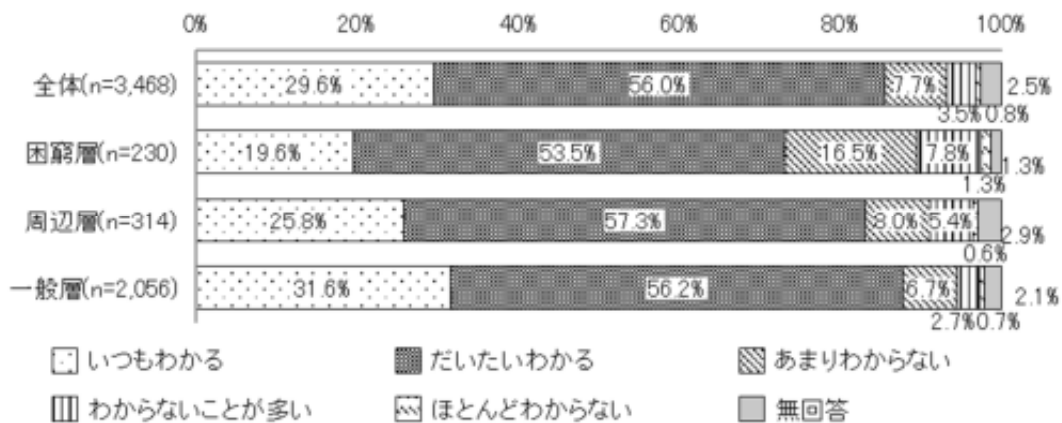
7. 集計方法等について

- 各図表の結果数値 (%) は小数点第二位以下を四捨五入して表示しているため、各項目の割合の合計が 100% に一致しない場合がある。
- 本報告書においては、クロス集計結果の掲載時に、 χ^2 乗検定によって項目間に統計的に有意な差を認められるかを検定している。その結果、1% 水準で有意である場合には $p < .01$ (もしくは [**])、5% 水準で有意である場合には $p < .05$ (もしくは [*]) とそれぞれ記載している。なお、1% 水準で有意であるとは、図表で示している項目間に統計的に差がない確率が 1% 未満であり、項目間に差があるという差し支えないという意味である。

例) 以下の図表の場合、 $p < .01$ であるため、困窮状況によって学習授業の理解度に有意な差がみられるということができる。

子問 31 学校授業の理解度

【小学生】 ($p < .01$)



II. 主な調査結果

① 【生活の安定に資するための支援】

1. 生活困窮の状況

《全体の状況》

- ・ 自宅で宿題をすることができる場所や自分専用の勉強机などの勉強に適した環境や、友達が着ているのと同じような服、2足以上のサイズのあった靴など日常生活を送る上で重要なものを所有することももの割合は、一般層に比べて困窮層の方が低い。(図表 10)
- ・ 急な出費のための貯金ができているという割合は、困窮層で約6割にのぼる。(図表 11)
- ・ 10年前の生活が大変苦しいと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 12)

《結果概要》

困窮状況により物品の所有状況には差がみられ、こどもの学習や日常生活に影響が出ている可能性がある。また、生活の困窮は長期に渡り継続している傾向がみられる。

《関連項目》

図表 10 子問 26 利用できるもの_「ある」と回答した割合

【小学生】

	自分だけの本 [*]	子ども部屋 [**]	インターネット につながる パソコン、タ ブレット	自宅で宿題を することがで きる場所[**]	自分専用の勉 強机[*]	スポーツ用品 [**]	ゲーム機[**]
全体(n=3,488)	88.5	83.4	83.8	85.1	84.4	87.0	84.0
困窮層(n=230)	58.3	53.0	57.4	76.5	54.8	53.5	73.9
周辺層(n=314)	61.5	69.1	60.2	85.7	65.0	67.2	82.5
一般層(n=2,058)	87.8	84.0	84.2	88.5	85.1	88.9	84.5

	多くの友だち が持っている おもちゃ[*]	自転車[**]	おやつや、 ちょっとした おもちゃを買 うおこづかい [**]	友だちが着て いるのと同じ ような服[*]	2足以上のサ イズのあった 靴[**]	けいたい電 話、スマート フォン	けいたい音楽 プレイヤー
全体(n=3,488)	44.3	36.3	73.6	46.4	75.6	52.3	17.6
困窮層(n=230)	36.5	28.7	58.3	40.9	69.1	55.2	18.7
周辺層(n=314)	47.5	37.9	70.4	45.5	73.6	52.9	20.4
一般層(n=2,058)	45.3	37.1	75.2	47.1	77.2	53.2	16.7

【中学生】

	自分だけの本 [*]	子ども部屋 [**]	インターネット につながる パソコン、タ ブレット[**]	自宅で宿題を することがで きる場所[**]	自分専用の勉 強机[**]	スポーツ用品 [**]	ゲーム機[**]
全体(n=3,021)	75.5	76.8	72.8	89.5	81.1	72.7	82.4
困窮層(n=228)	71.5	64.5	55.7	78.5	69.7	62.3	67.1
周辺層(n=291)	74.6	72.5	71.8	86.3	81.4	70.1	81.8
一般層(n=1,884)	77.9	80.3	75.7	92.5	83.8	74.9	84.6

	多くの友だち が持っている おもちゃ[**]	自転車[**]	おやつや、 ちょっとした おもちゃを買 うおこづかい [**]	友だちが着て いるのと同じ ような服[**]	2足以上のサ イズのあった 靴[**]	けいたい電 話、スマート フォン	けいたい音楽 プレイヤー
全体(n=3,021)	45.1	36.9	75.5	45.5	79.7	59.3	39.7
困窮層(n=228)	34.6	28.8	60.1	33.8	69.7	59.5	37.3
周辺層(n=291)	47.4	33.5	75.9	43.8	77.0	58.3	39.9
一般層(n=1,884)	47.1	39.1	79.0	48.2	82.1	60.0	40.5

[**]: p<.01, [*]: p<.05

図表 11 保間 17 経済的な理由で世帯にないもの

【小学生】

	こどもの年齢に合った本【**】	こども用のスポーツ用品・おもちゃ【**】	こどもが自宅で宿題をできる場所【**】	洗濯機【**】	炊飯器	掃除機【**】	暖房機器【**】	冷房機器【**】
全体(n=3,887)	4.1	2.2	2.7	0.1	0.2	0.3	0.5	1.2
困窮層(n=264)	32.6	21.2	22.0	0.8	0.4	3.0	5.3	9.1
周辺層(n=360)	9.4	4.2	5.8	0.0	0.0	0.6	0.6	1.4
一般層(n=2,297)	0.8	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3

	電子レンジ【**】	電話【**】	インターネットにつながるパソコン【**】	新聞の定期購読【**】	世帯専用のお風呂	世帯人数分のベッドまたは布団【**】	急な出費のための貯金【**】	あてはまるものはない【**】
全体(n=3,887)	0.1	1.2	7.0	15.5	0.1	3.1	11.4	63.0
困窮層(n=264)	0.8	5.3	31.4	46.6	0.4	23.5	66.3	9.1
周辺層(n=360)	0.0	3.1	15.8	30.3	0.3	4.7	33.3	40.3
一般層(n=2,297)	0.0	0.6	3.6	11.8	0.0	0.7	3.3	83.5

【中学生】

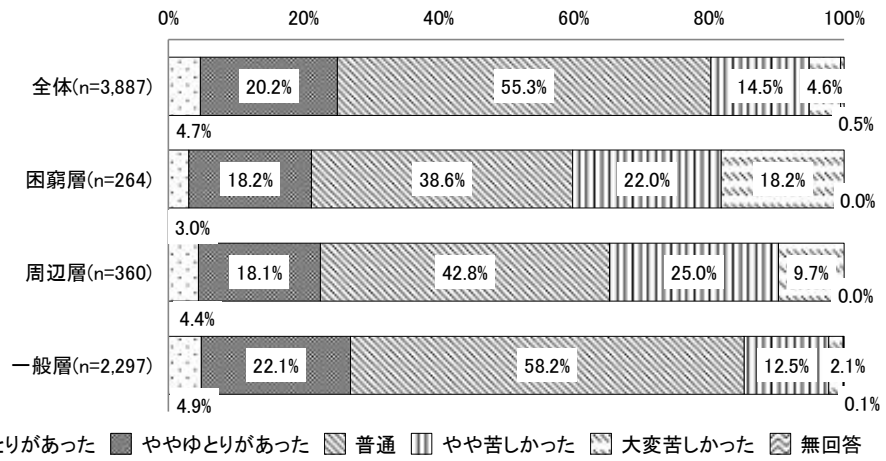
	こどもの年齢に合った本【**】	こども用のスポーツ用品・おもちゃ【**】	こどもが自宅で宿題をできる場所【**】	洗濯機	炊飯器	掃除機【**】	暖房機器【**】	冷房機器【**】
全体(n=3,372)	3.7	2.1	2.9	0.1	0.3	0.4	0.3	0.9
困窮層(n=257)	26.5	14.4	20.2	0.4	0.8	2.7	2.7	5.1
周辺層(n=333)	6.3	4.2	6.0	0.3	0.6	0.6	0.9	2.1
一般層(n=1,890)	0.6	0.1	0.5	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3

	電子レンジ【**】	電話【**】	インターネットにつながるパソコン【**】	新聞の定期購読【**】	世帯専用のお風呂【**】	世帯人数分のベッドまたは布団【**】	急な出費のための貯金【**】	あてはまるものはない【**】
全体(n=3,372)	0.1	1.1	7.2	15.4	0.2	2.5	12.8	62.1
困窮層(n=257)	1.2	5.4	33.5	41.6	1.6	17.5	64.2	10.1
周辺層(n=333)	0.6	2.1	10.2	30.6	0.3	5.7	29.7	40.5
一般層(n=1,890)	0.0	0.3	3.5	11.1	0.0	0.4	3.9	83.4

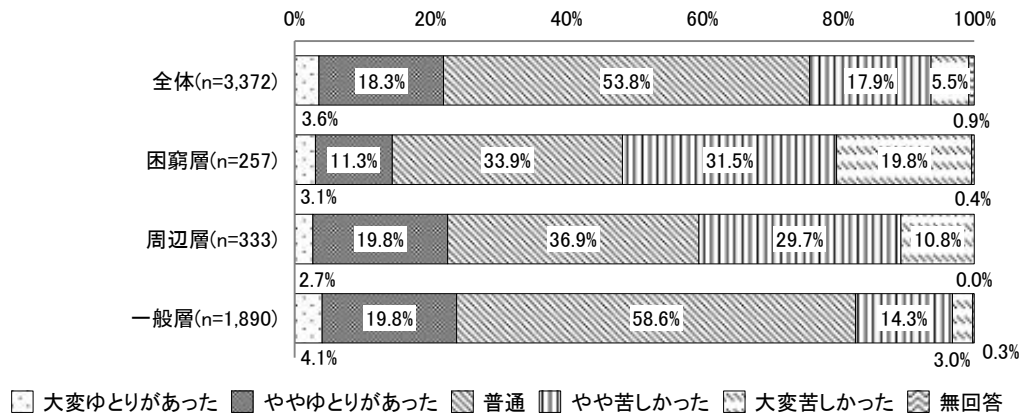
【**】:p<.01, 【*】:p<.05

図表 12 保問 42 今から 10 年前の暮らし向き

【小学生】 (p<. 01)



【中学生】 (p<. 01)



《全体の状況》

- ・中学生について、午前0時以降に就寝すると回答したこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 13)
- ・平日に毎日朝ご飯を食べる割合は、一般層に比べて困窮層の方が低い。(図表 14)
- ・野菜を毎日食べるこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が低く 15~20 ポイントの差がある。(図表 15) 同様に、肉か魚を毎日食べるこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が低く約 15 ポイントの差がある。(図表 17)
- ・こどもがくだものを食べる頻度は、一般層に比べて困窮層の方が少ない。(図表 16)
- ・カップめん・インスタントめんを食べないこどもの割合は、困窮層に比べて一般層の方が高い。(図表 18)
- ・お菓子を毎日食べるこどもの割合は、小学生については一般層に比べて困窮層の方が低く 11 ポイントの差がある。一方、中学生については周辺層がもっとも高く、最も低い困窮層とは約 12 ポイントの差がある。(図表 19)

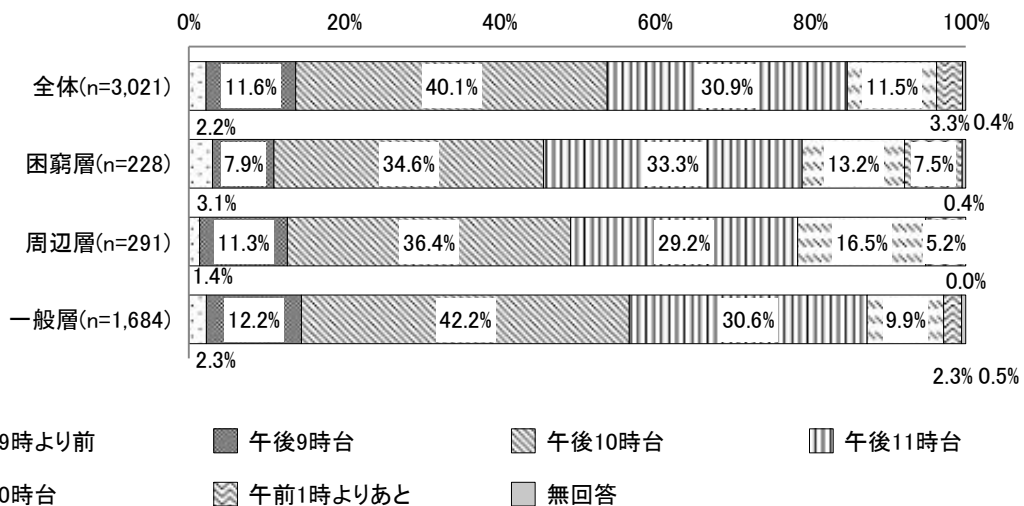
《結果概要》

困窮層のこどもほど、睡眠・食事などの基本的な生活習慣において課題がみられる。睡眠については、困窮層のこどものほど夜遅くまで起きているという傾向がみられる。また、食事については、困窮層のこどものほど毎日朝ご飯を食べておらず、野菜や魚・肉を食べる頻度も低いという傾向がみられる。

《関連項目》

図表 13 子問 14 平日の就寝時刻

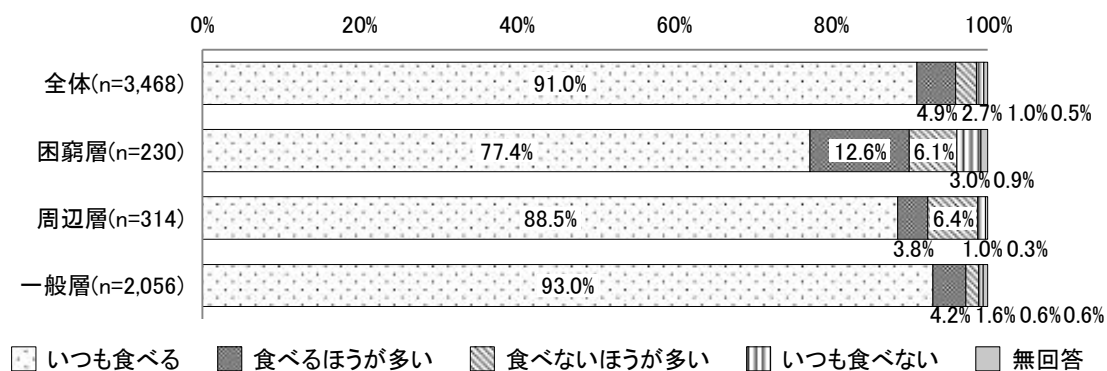
【中学生】 (p<. 01)



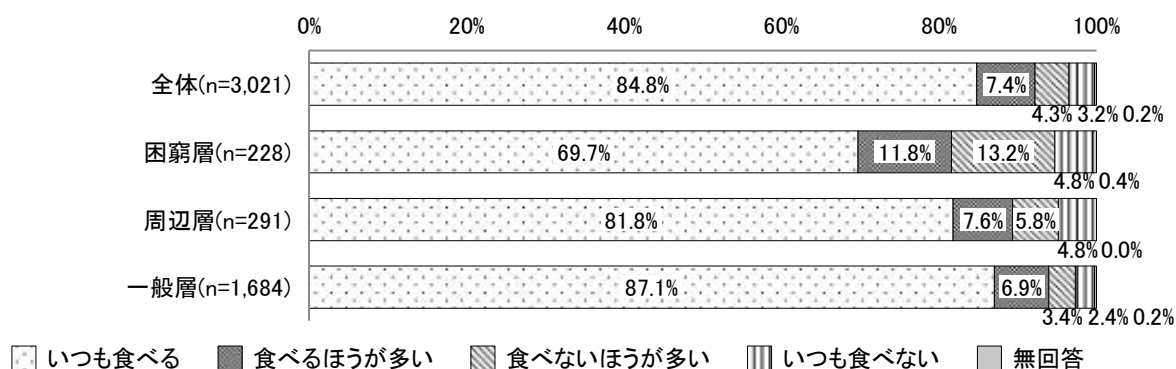
※小学生は有意差無し

図表 14 子問 15 朝食の状況

【小学生】 (p<. 01)

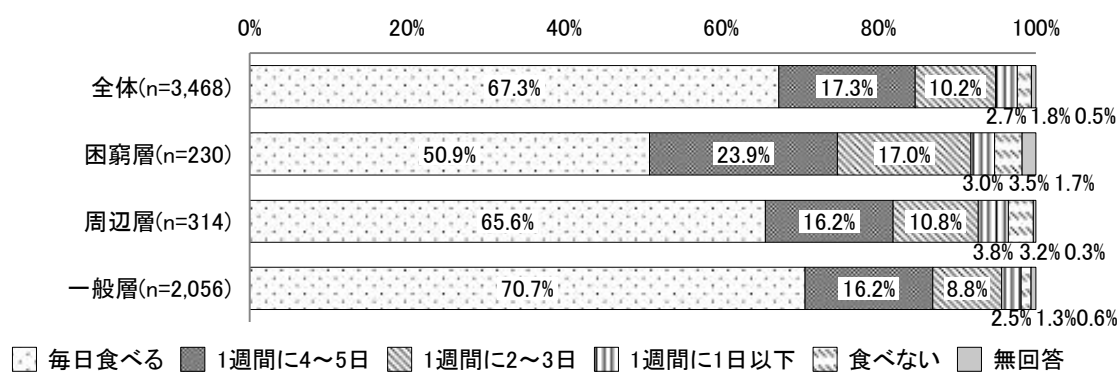


【中学生】 (p<. 01)

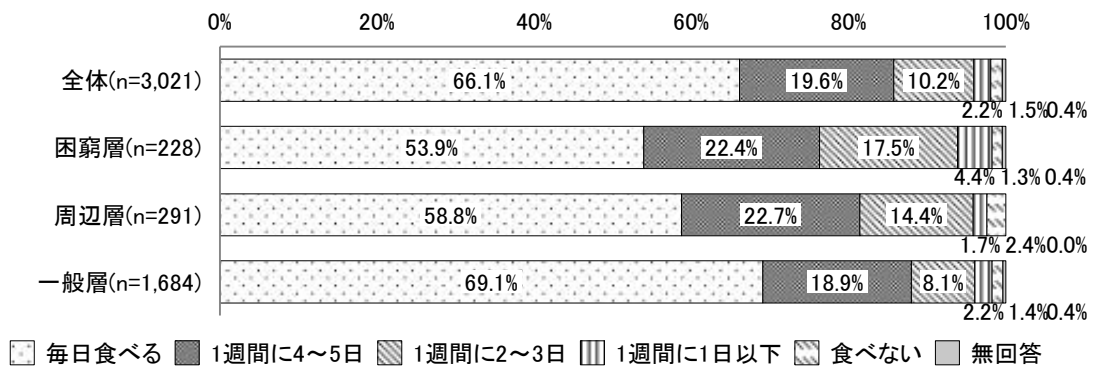


図表 15 子問 17 ふだん食べる頻度_野菜

【小学生】 (p<. 01)

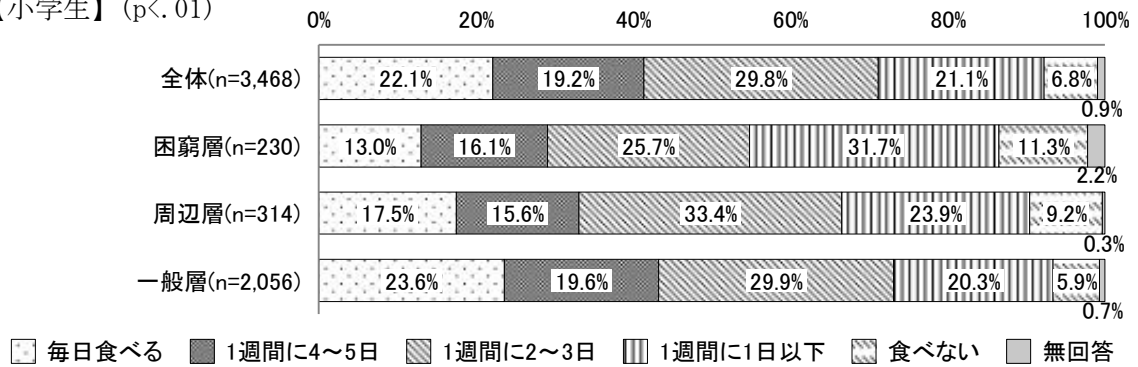


【中学生】 (p<. 01)

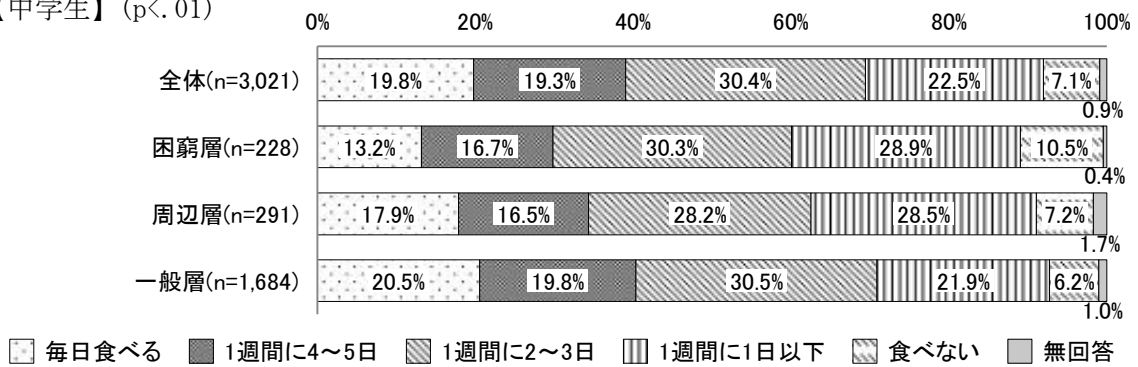


図表 16 子問 17 ふだん食べる頻度_くだもの

【小学生】 (p<. 01)

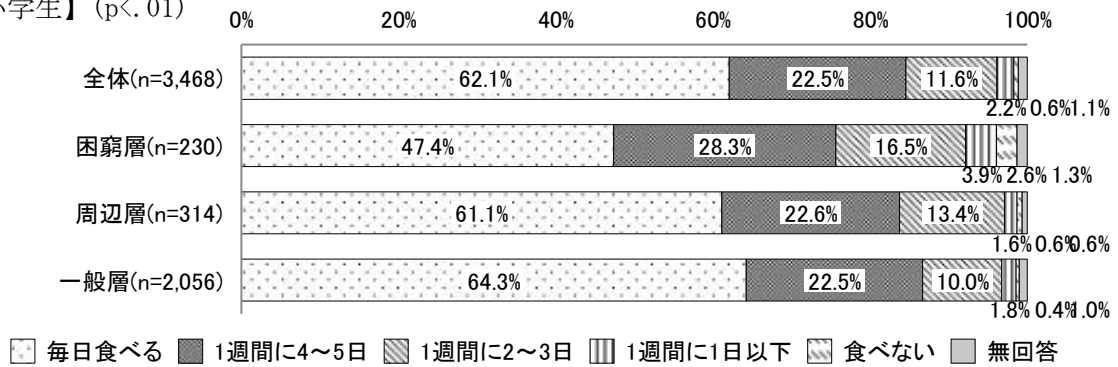


【中学生】 (p<. 01)

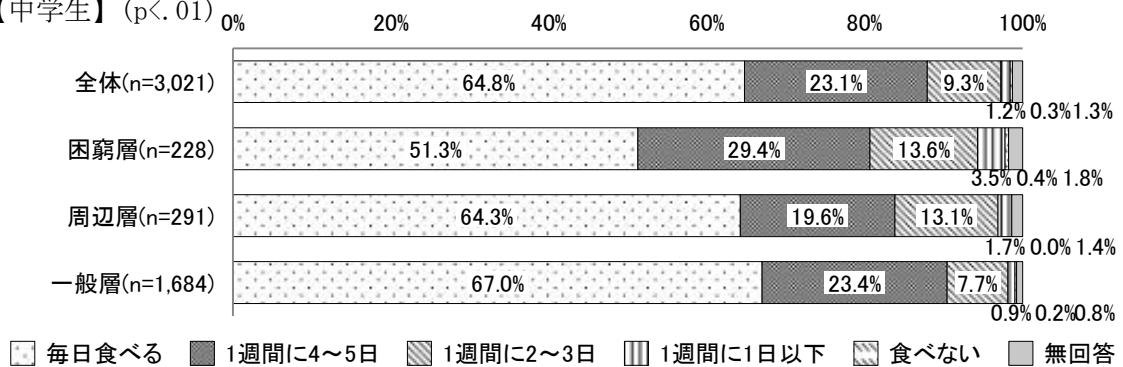


図表 17 子問 17 ふだん食べる頻度_肉か魚

【小学生】 (p<. 01)

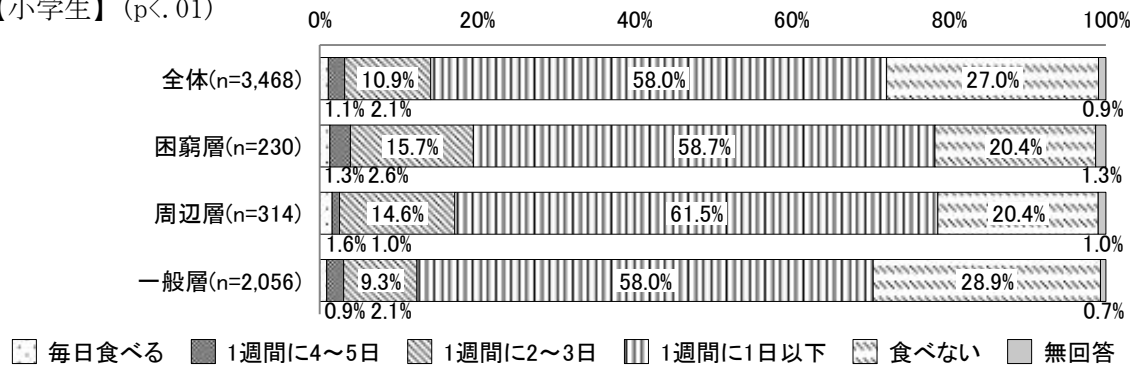


【中学生】 (p<. 01)

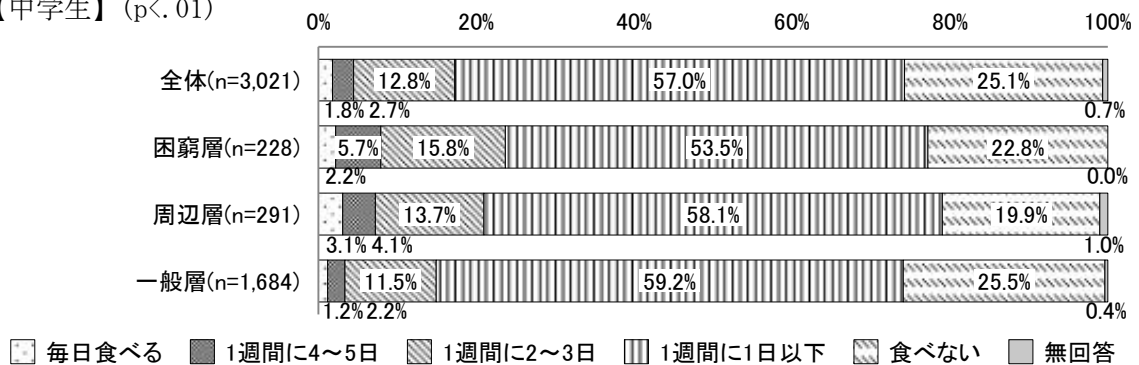


図表 18 子問 17 ふだん食べる頻度_カップめん・インスタントめん

【小学生】 (p<. 01)

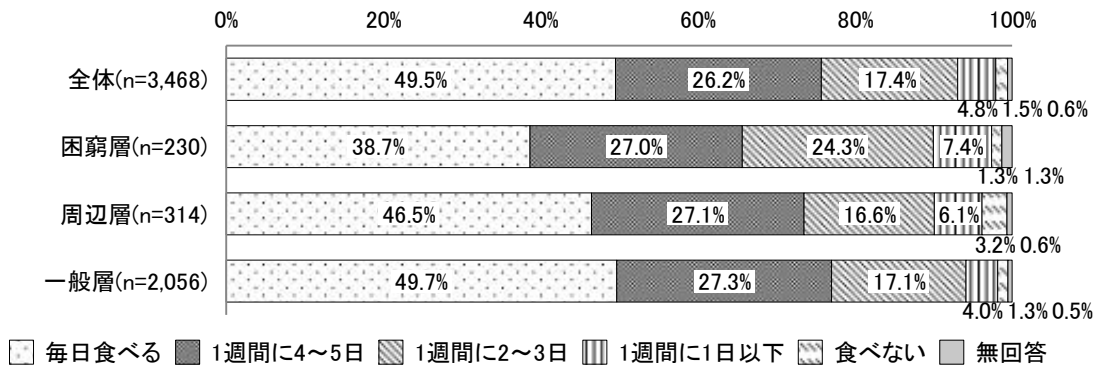


【中学生】 (p<. 01)

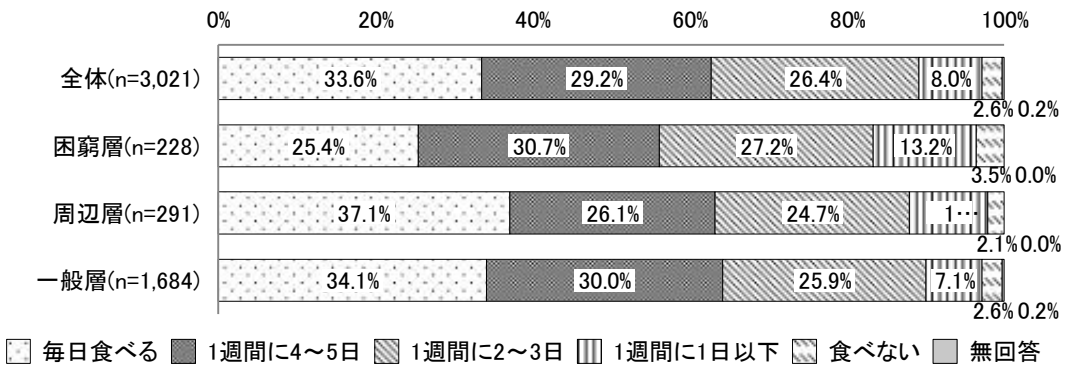


図表 19 子問 17 ふだん食べる頻度_お菓子

【小学生】 (p<. 01)



【中学生】 (p<. 05)



《全体の状況》

- ・こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがあったと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。特に、中学生については一般層に比べて困窮層の方が約 10 ポイント高い。(図表 20)
- ・中学生については、「自分は価値のある人間だ」「自分は友達に好かれている」「自分のことが好きだ」と「思わない」こどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 22、図表 25、図表 26)
- ・同じく中学生については、「孤独を感じることもある」と「とても思う」こどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 24)
- ・健康状態が良いと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が低く、20 ポイント以上の差がある。(図表 27)
- ・健康診断やがん検診を定期的に受けていると回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が低く、費用面を理由に挙げる割合が高い。(図表 28、図表 29)
- ・「がんばれば、むくわれる」「自分は価値のある人間だ」「目標や計画は達成できる」「積極的に色々な人と話したい」「今後の人生が楽しみだ」「自分のことが好きだ」と「思わない」保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 30、図表 31、図表 34、図表 35、図表 36、図表 37)
- ・また、「不安を感じることもある」「孤独を感じることもある」と「とても思う」保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 32、図表 33)

《結果概要》

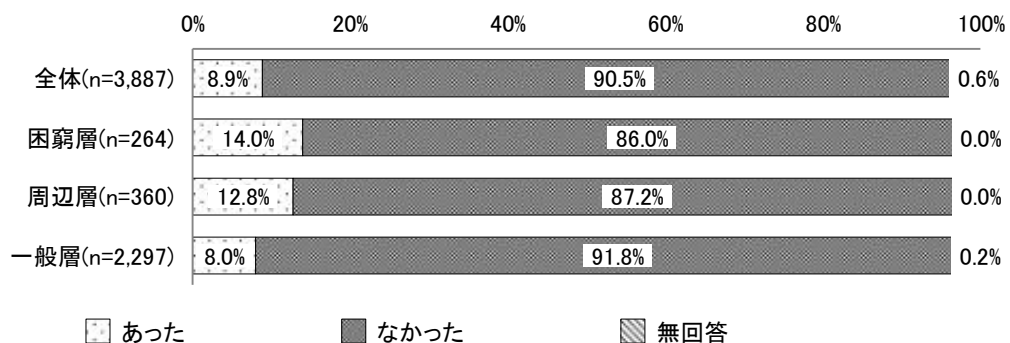
困窮層ほど、費用負担を理由としてこどもの医療機関受診や保護者自身の健康診断等の受診を抑制する傾向がみられる。また、困窮層の保護者ほど、健康状態がよくないという傾向がみられる。これらのことにより、健康状態の悪化が懸念され、医療費負担の増大や保護者が働けなくなるリスクが高まり、状況がより深刻になる可能性がある。

また、保護者自身の自己肯定感が、困窮層においては低いことを踏まえると、こどもの自己肯定感を高められない家庭があることが推測される。

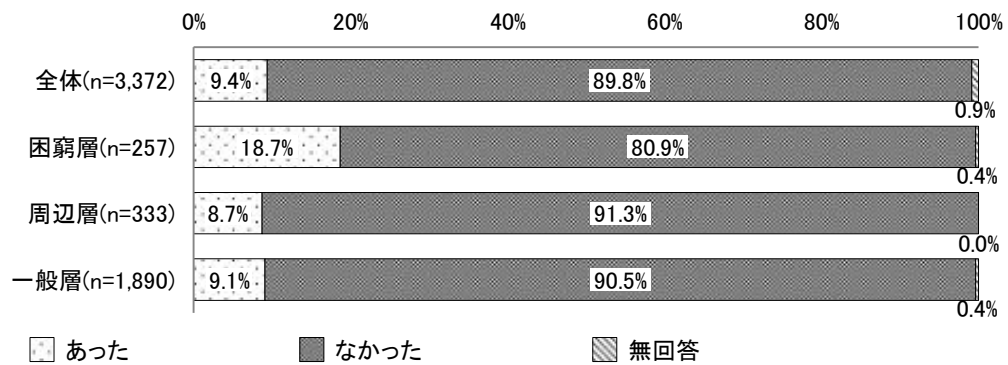
《関連項目》

図表 20 保問 26 こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診しなかったこと

【小学生】(p<.01)

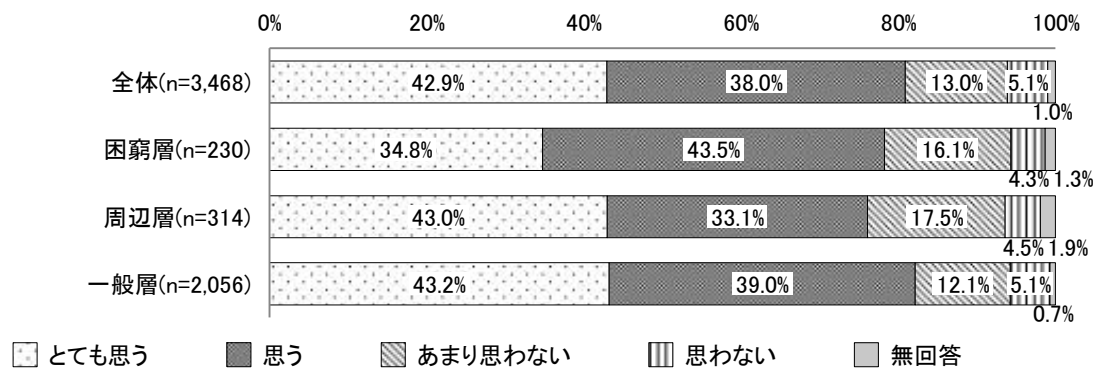


【中学生】 (p<.01)

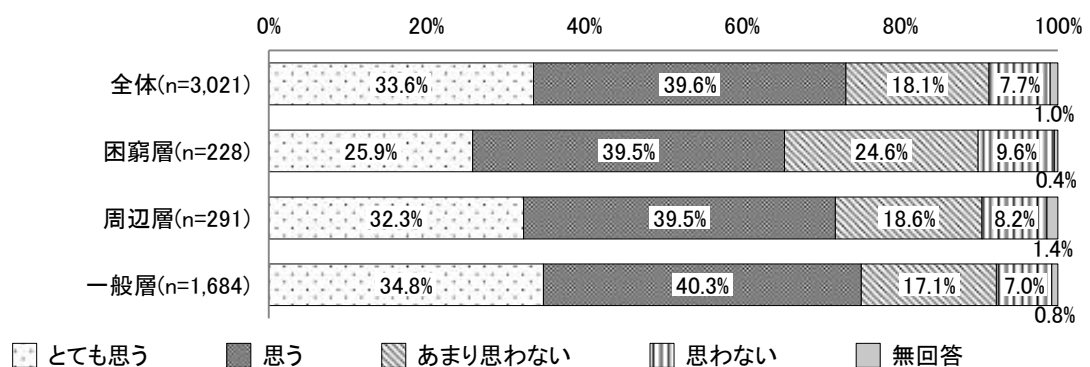


図表 21 子問 33 自己肯定感_がんばれば、むくわれる

【小学生】 (p<.05)

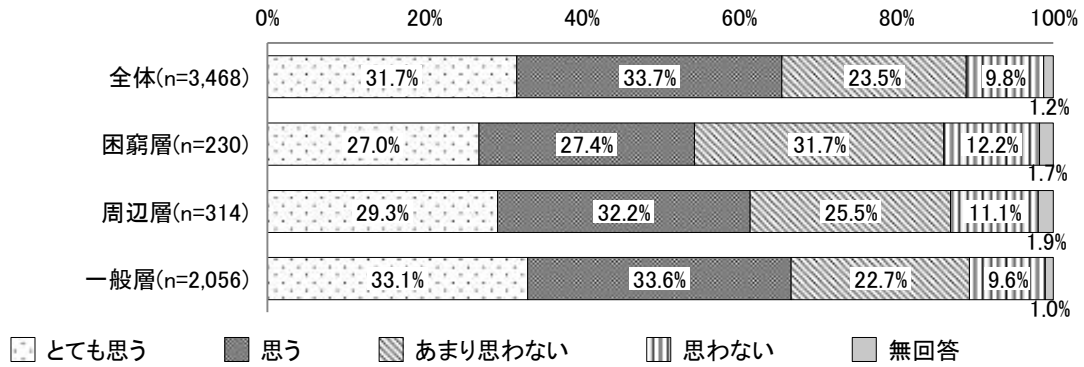


【中学生】 (p<.05)

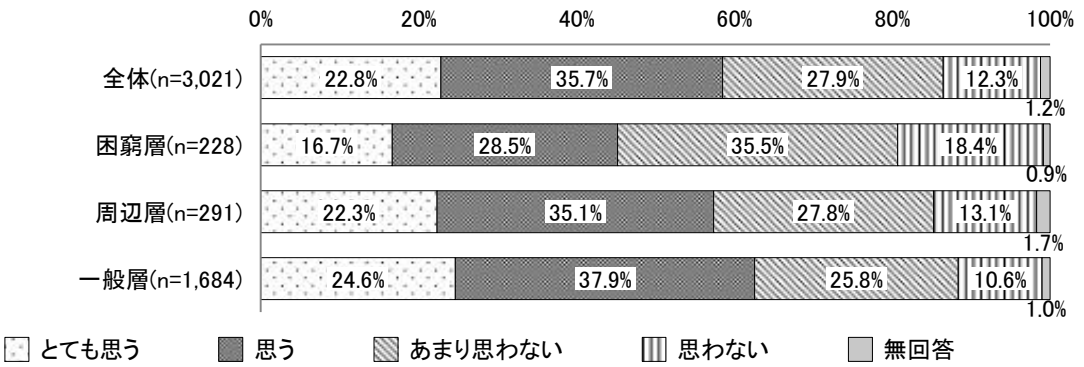


図表 22 子問 33 自己肯定感_自分は価値のある人間だ

【小学生】 (p<.05)

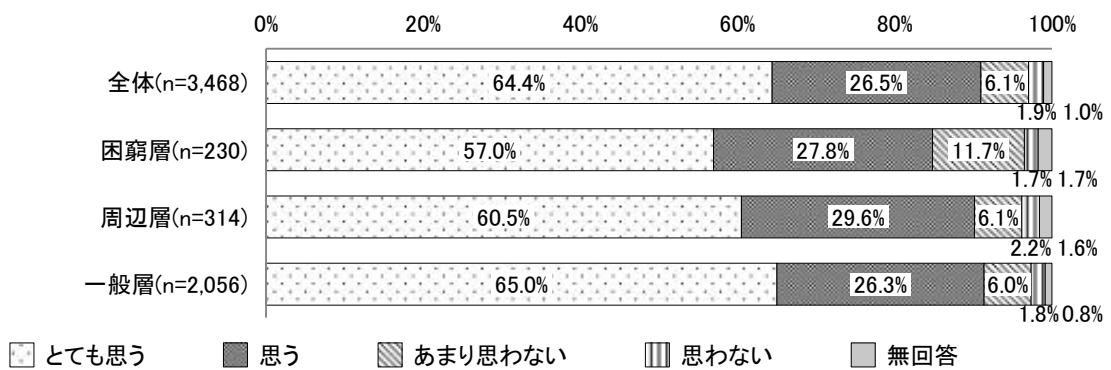


【中学生】 (p<.01)

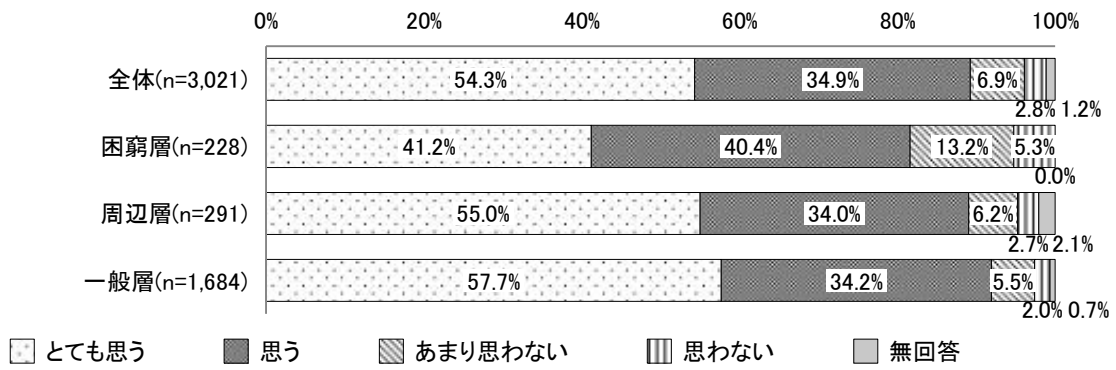


図表 23 子問 33 自己肯定感_自分は家族に大切にされている

【小学生】 (p<.05)

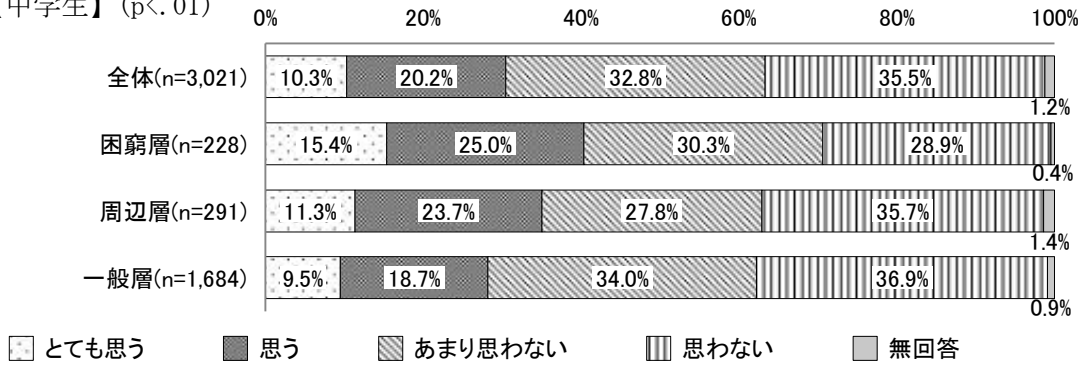


【中学生】 (p<.01)



図表 24 子問 33 自己肯定感_孤独を感じることもある

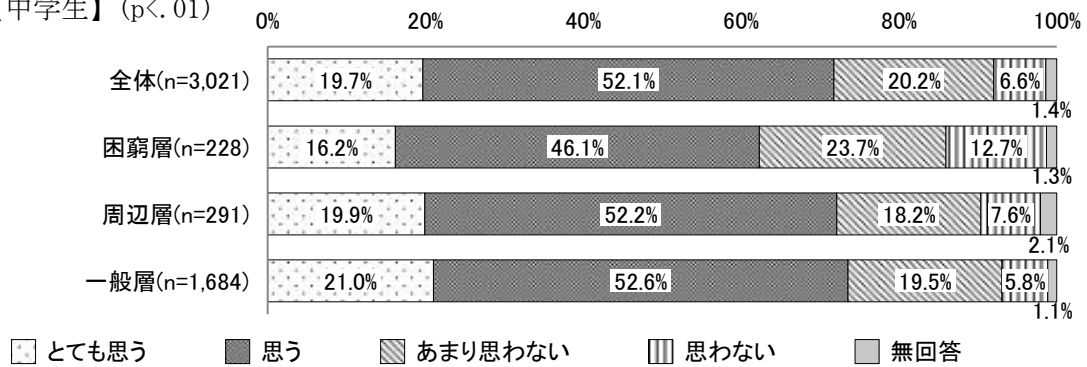
【中学生】 (p<.01)



※小学生は有意差無し

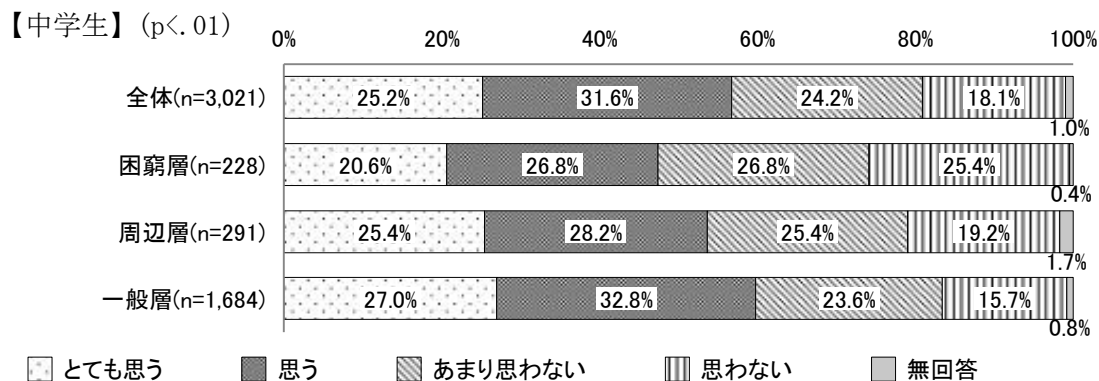
図表 25 子問 33 自己肯定感_自分は友達に好かれている

【中学生】 (p<.01)



※小学生は有意差無し

図表 26 子問 33 自己肯定感_自分のことが好きだ



※小学生は有意差無し

図表 27 保問 18 保護者の健康状態

